

老人福祉施設及び障害（児）者施設における歯科保健等調査結果の概要について

1 目的

宮城県では、平成23年10月に「宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」を策定し、計画に基づき各種の歯と口腔に関する保健施策を実施している。この計画の進行管理の一環として、老人福祉施設及び障害者等施設の入所者に対する歯と口腔の健康状況を把握するとともに、課題を明確にするために調査を実施する。

2 実施主体 宮城県

3 調査対象 老人福祉施設及び障害児（者）施設（入所施設のみ）

社会福祉施設名 (H23.10.1現在)		総数		宮城県所管		仙台市所管	
		施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
老人福祉施設	養護老人ホーム	10	796	8	586	2	210
	特別養護老人ホーム	135	7,524	94	4,949	41	2,575
	軽費老人ホーム	45	1,334	28	726	17	608
障害者等	障害者支援施設	36	2,069	26	1,589	10	480
	福祉型障害児入所施設	2	70	2	70	0	0

4 調査票の配付方法

- ① 老人福祉施設（仙台市所管分を除く）については、長寿社会政策課から提供を受けたメーリングリスト（仙台市を除く）により、当課からメールで送信。
- ② 老人福祉施設（仙台市所管分）については、当課から施設にFAX送信。
- ③ 障害者等施設については、障害福祉課経由で施設に送信。

5 回収方法及び期限 電子メールまたはファクシミリにて平成24年10月12日（金）まで回答。

6 調査結果

1) 歯と口腔の活動状況について

① 回答率 52.6%

施設数228施設のうち、回答があったのは120施設で、回答率は52.6%であった。施設の種類別では、軽費老人ホームが35.6%と回答が少なかった。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
該当数	228	10	135	45	38
回答数	120	6	76	16	22
回答率(%)	52.6	60.0	56.3	35.6	57.9

② 入所者の性別・年齢構成について

入所者の性別は、男性が29.6%、女性が70.4%であり、年齢構成別には、80歳以上が63.8%を占めていた。施設別に見ると、障害者支援施設は各年代が入所していた。

	全数	男性	女性
全年齢 人	6,443	1,909	4,534
%	100	29.6	70.4

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
全数	6,443	456	4,353	470	1,164
59歳未満	756	0	18	0	738
%	11.7	0	0.4	0	63.4
60~79歳	1,578	194	870	107	407
%	24.5	42.5	20.0	22.8	35.0
80歳以上	4,109	262	3,465	363	19
%	63.8	57.5	79.6	77.2	1.6

③ 歯科医師の協力方法について

協力方法で一番多かったのが「往診」の76施設(63.3%)であった。施設種類別では、養護老人ホームでは「緊急時のみ対応」が多く、5施設(83.3%)、特別養護老人ホームでは「往診」が一番多く、64施設(84.2%)であった。軽費老人ホームは入所者が自立している方が多いため、入所者自ら受診する体制を取っている施設が多かった。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
往診	76	1	64	4	7
率(%)	63.3	16.7	84.2	25.0	31.8
緊急時	37	5	24	3	5
率(%)	30.8	83.3	31.6	18.8	22.7
健診	43	2	30	2	9
率(%)	35.8	33.3	39.8	12.5	40.9

④ 年1回以上歯科健診を実施している施設数

歯科健診を年1回以上実施している施設は、56施設(46.7%)であった。施設種類別では障害者支援施設等12施設(54.5%)で実施されていた。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
健診実施数(A)	56	2	37	5	12
率(%)	46.7	33.3	48.7	31.3	54.5
保健指導実施数(B)	43	2	31	1	9
率(%)	76.8	100.0	83.8	20.0	75.0
(B/A)					

また、健診を実施している施設のうち保健指導を実施しているのは43施設(76.8%)と多く、特に養護老人ホームでは100%であった。

⑤ 歯科保健の取組について

歯科保健の取組をしている施設は112施設(93.3%)と多く、養護老人ホームと特別養護老人ホームでは、回答のあった施設全てで何らかの歯科保健を取り組んでいた。

取組内容では、口腔ケアと歯みがきをしている、と回答した施設が多く、フッ化物応用や講演会等の取組をしている施設は少ない状況であった。

また、歯科保健の取組を実施していると回答した施設のうち、口腔ケアを日常的にしている施設は107施設(89.2%)と多く、養護老人ホームと特別養護老人ホームでは、回答のあった施設全てで口腔ケアを実施していた。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
実施数	112	6	76	10	20
率(%)	93.3	100.0	100.0	62.5	90.9
口腔ケア	92	3	75	5	9
率(%)	82.1	50.0	98.7	50.0	45.0
歯みがき	105	6	70	9	20
率(%)	93.8	100.0	92.1	90.0	100.0
フッ化物塗布	3		3		
率(%)	2.7		3.9		
フッ化物洗口	4		3	1	
率(%)	3.6		3.9	10.0	
講演会	9		3	2	4
率(%)	8.0		3.9	20.0	20.0
広報	1		1		
率(%)	0.9		1.3		
その他	10		8	2	
率(%)	8.9		10.5	20.0	
実施数	107	6	76	5	20
率(%)	89.2	100.0	100.0	31.3	90.9

⑥ 歯科医との情報交換

歯科医との情報交換を実施している施設は 83 施設 (69.2%) と全体の 3分の2を占めていた。特別養護老人ホームが 60 施設 (78.9%) と多かったが、養護老人ホームでは 1 施設 (16.7%) しかなかった。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
実施数	83	1	60	8	14
率(%)	69.2	16.7	78.9	50.0	63.6

⑦ 医療機関通院支援について

医療機関への通院時に送迎や付き添いをしている施設は、107 施設 (89.2%) と多く、入所者が自立している軽費老人ホーム以外で、80%を超える施設が何らかの支援を行っていた。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
実施数	107	5	71	10	21
率(%)	89.2	83.3	93.4	62.5	95.5

⑧ 医療機関への通院支援で困っていること (自由記載)

「困っていることはない」と回答した施設があった一方で、下記のような記載があった。

- ・ 認知症や障害により、治療の意味がわからず本人が拒否してしまい、治療が困難になる。
- ・ 車いすで通院できる医療機関がない (少ない)
- ・ 障害が重くなればなるほど、治療できる医療機関が限られてしまう。

⑨ 「在宅歯科医療連携室」について

「在宅歯科医療連携室」を知っていると回答した施設は 40 施設 (33.3%) で、そのうち利用したことがある施設は 4 施設 (10.0%) であった。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
知っている	40	1	29	5	5
率(%)	33.3	16.7	38.2	31.3	22.7
利用した	4	0	3	1	0
率(%)	10.0	0	10.3	20.0	0

2) 歯科健診結果

① う歯数について

入所者のうち歯科健診を実施したのは、養護老人ホームが 146 人 (86.4%) と一番多かったが、自立している人が入所している軽費老人ホームでは 83 人 (50.0%) であった。

1 人あたりのう歯本数は 2.24 本から 6.74 本と施設によって本数に差があった。

さらに、喪失歯も障害者支援施設が 4.55 本と少なかったが、軽費老人ホームでは 19.36 本と多かった。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
判定者数	2,278	146	1,654	83	395
率(%)	74.2	86.4	78.5	50.0	62.8
未処置歯数	3,506	176	2,945	110	275
率(%)	31.4	53.8	35.3	20.4	14.2
処置歯数	7,645	151	5,408	429	1,657
率(%)	68.6	46.2	64.7	79.6	85.8
小計	11,151	327	8,353	539	1,932
1人あたりう歯本数	4.90	2.24	5.05	6.74	4.89
喪失歯数	23,119	1,383	18,332	1,607	1,797
1人あたり喪失歯本数	10.15	9.47	11.08	19.36	4.55

② 義歯の有無について

入所者のうち義歯があるのは、養護老人ホームの91人(53.8%)と半数以上であり、そのうち7割以上の方が総義歯であった。

	全施設数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	障害者支援施設等
義歯あり	1,200	91	940	60	109
率(%)	39.1	53.8	44.6	36.1	17.3
総義歯	769	70	624	38	37
率(%)	64.1	76.9	66.4	63.3	33.9

7 考察

① 高齢者施設における歯科口腔保健の推進について

高齢者施設、特に特別養護老人ホームにおいて、口腔ケアの普及が広く進んでいる現状ですが、歯科保健体制をみると、6割以上で往診対応であり、歯科健診は3割程度でした。

緊急時のみの対応だけでなく、定期的な歯科口腔保健体制のある施設の更なる増加が望まれます。

② 障害者支援施設における歯科口腔保健の推進について

59歳以下の入所者が多い障害者支援施設等の歯科保健の取組としては、口腔ケアを行っている施設が半数以下であり、フッ化物応用を実施している施設がありませんでした。処置歯が8割以上で多かったのですが、十分なセルフケアを行うことが困難な方も多いことから、口腔ケアに取り組む施設の増加が望まれます。

③ 在宅歯科医療連携室について

施設が歯科診療所への通院支援で困っていることとして、通院できる医療機関がない(少ない)と回答した施設がありました。医療機関の情報を提供する在宅歯科医療連携室の存在を知っている施設が3割と少なく、利用したことのある施設はそのうちの1割だったことから、在宅歯科医療連携室の更なる周知啓発活動が望まれます。